

2023年12月2日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	シロスタゾールを含む抗血小板薬2剤とスタチンによる頭蓋内血管狭窄病変に狭窄改善の検討
倫理委員会承認番号	No.23-
研究の対象	<p>研究対象 当院にてMRIを撮像され急性期脳梗塞や頭蓋内血管狭窄と診断された患者。年齢・性別は問わない</p> <p>期間 2009年1月から2023年12月まで</p> <p>実施場所 当院</p>
研究目的・方法	<p>頭蓋内血管狭窄病変は日本人を含むアジア人での脳梗塞の原因の10-40%に上ると報告されている。だが現在、頭蓋内血管狭窄病変に対するアスピリンやクロピドグレル単剤による抗血小板薬での脳梗塞再発率は高く、外科的治療、血管内治療いずれにおいても内科治療を超える成績を示せていない。シロスタゾールは血管拡張作用を有する抗血小板であり、アスピリンやクロピドグレルと併用する事で脳梗塞再発率が低下するという報告がされた。またスタチンも血管狭窄病変の進行予防や脳梗塞再発予防に有用であるという報告もされており、シロスタゾールとの併用で血管狭窄が改善するかを後方視的に検討した。</p>
研究に用いる 試料・情報の種類	<p>本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います（個人が特定出来る情報は転記しません）。脳梗塞発症時にMR検査施行されてから経時的にMR検査を再検し画像データの推移を統計学的に解析します。カルテから転記する内容は年齢、性別、病気の診断、MRI画像のパラメータ所見、血液検査所見です。これらのパラメーターを解析し、新たな治療法の確率を目指します。</p>
外部への 試料・情報の提供	外部への資料、情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
利益相反の有無	無（ ）
お問い合わせ先	<p>廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 研究責任者： 藤原 隆司 TEL : 0829-36-3111 FAX : 0829-36-5573</p>
備考	